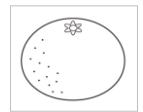


シータータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> 保:「トントントン」とドアを叩く音と共に絵本を隠し持って登場。「いろいろ…」と言いながら「ばあー！」で絵本の表紙を提示。 講:絵本を受け取り、お化けが飛び出すような表紙の絵に興味を持たせて絵本をスタートさせる。 	教材 ★絵本 ★iPad(シーターセット)	
読み方	<ul style="list-style-type: none"> 表紙の「三原色」を確認してから読み始める。 「いろいろ…ばあ！」のことばは全員で言うように促す。 混色は具体物に例えながら読み進める。(例:紫=ぶどう・さつまいも等) 	保育士の役割 • 絵本を持って登場 • 子どもと一緒になつて色が飛び出す様を楽しみ盛り上げる	

がくしゅうタイム

活動①	ねらい	色①	色のカードが何に変化するか興味を持って活動に参加することができる	実物参照	
設問	「赤」「青」「黄色」のカードが何に変身するのかな?見てみましょう				
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 講:「いろいろばあ」って色々な色が飛び出してきたね。「みんなは何色が好き?」 保:「いろいろおばけちゃんからお届け物です」と提示用○カードを袋に入れて提示。 	教材 提示用○カード 3種 (赤・青・黄) × 2枚 ○(具体物)カード 6種 ※りんご・バナナ・車・ ピーマン・みかん・ぶどう) □袋&?袋			
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講:「何かな?」中身に期待を持たせて「赤・青・黄」3色の○カードを提示。色の名称の確認。「なになに…?袋に入れて変身させてみて…だって。何に変身するのかな?」子ども達に興味を持たせ「やってみようか…赤のカードを入れるよ」 ①赤○カードを1枚、?袋に入れる。 ②みんなで声を揃え「いろいろ…ばあ！」と言いながら予め入れておいたりんごカードを出し「(何になった?)りんごになっちゃったー!」と名称確認。 ③同様に赤と青(青=車・黄=バナナ)も変化させて楽しむ。 ④「赤と黄色混ぜたら何になる?」と混ぜた色にも興味を持たせ、2色の○カードを入れ、具体物の○カードを出す(黄+青=緑のピーマン・赤+青=紫のぶどう・赤+黄=オレンジ(橙)のみかん) <p>※カードの具体物は青=車を除いて全て食べられるものになっています。提示しながら「食べてみよう!どんな味?」と感覚行動を入れたり、「青=車」は「食べられる?」と確認するなど、子ども達のことばを引き出しながら楽しくカード提示の活動を展開させましょう。</p> <p>※見ているだけでは飽きてしまいますが、何になるか問い合わせ予測させたり、○カードを代表の子に封筒に入れてもらうなど、一緒に巻き込みながらの展開を心がけると良いでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 保:子ども達が受け身の活動にならないように、保育士も子どもと一緒にやって活動を楽しみ、声を出して盛り上げる。 講:具体物6種全てのカードが提示できたら活動②へ進む。 	保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> 色カード袋に入れて提示 子ども達と一緒にやって活動を楽しみ、声を出して盛り上げる 			
活動②	ねらい	色②	指示を理解して果物カードと交換し色を塗ることができる	 	
設問	好きな2つの色(○カード)を混ぜて果物カードと交換しましょう 交換した果物がもっと美味しいくなるように色を塗りましょう			教材 ○カード3種(赤・青・黄1人各1枚) 果物カード2種 (ぶどう・みかん1人各1枚) 提示用果物カード2種 クレヨン 自動販売機(小型版)	
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> 講:「色がいろいろ変身して楽しいね!みんなもいろいろ混ぜてみたいね」 保:「いいものあるよ!じゃーん!色々自動販売機!」と自動販売機を持って登場。「今日は2つの色を混ぜて買いに来てね!」と○カードが入った皿を提示。 				
活動内容	<p>数にチャレンジ・講:「先ずは先生が買ってみるね!」と見本行動。</p> <p>カードを2枚選んで掲げ「先生は赤と青!いち・に!全部で2枚」と数を確認。「2枚合わせて自動販売機に入れるはどうなるかな」子ども達に見える様に販売機上の穴に2枚の○カードを入れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 保:「いろいろ…ばあ♪」と言いながらカードの紫の○の方が見える様に下の穴から出す。 講:「この色なあに?そう!むらさき!赤と青が混ざって…(カードを裏返して)むらさきのぶどうになっちゃった!」「じゃあ、赤と黄色は?」という様に、子どもの様子を見ながら、同様に見本提示を繰り返す。もし集中が切れそうな場合は、見本1回で「みんなもやってみる?」と子ども達への活動へと展開させる。 				

- ・子：自分で色を選び2枚を確認して販売機に入れてカードと交換する。
- ・保：自動販売機の後ろから「いろいろばあー」のキーワードと共にそれぞれの子どもにあったカードを下の口から出す。
※動けるクラスは保育士（クラスの状況に応じて複数準備）の前に一列に並んで順番に交換しても良い。
- ・講：子ども達の交換したカードを確認。自分の欲しいものと交換できたか確認しながら称賛。「あれ？でも何だか変だね？何が変？何かがないね？」と問いかけ「色」が無いことに気付かせる。「このままだと味もしないよ」<活動①>の提示用カードを使って「ぶどう」「みかん」の色を確認。「みんなで塗ってみようか？」と意欲を引き出しクレヨンを配布。子ども達と一緒にクレヨンの準備を整えて、カードに色を塗っていく。
※色の確認は行うが、見本と違う色を塗っても無理に直さなくて良い。
- ・講：全員が塗れたところで「美味しくなったかな？みんなで食べよう！」とクレヨンを片付け「いただきます」で食べる真似。感覚行動。美味しくなったことを称賛して「ごちそうさま」で活動を終了。クレヨンは回収。カードはお土産にする。
※選ばなかった果物カードと3種の○カードも活動後お土産として配布する。

- ・自動販売機提示
- ・自動販売機の後ろで果物カードを持って準備。入れた2枚の○カードの色に合わせて「いろいろばあー」のキーワードと共に果物カードを差し出す
- ・クレヨン配布、必要に応じて補助、指導。
- ・称賛
- ・クレヨン回収

数チャレ	ねらい	数	2つの色のカードを選び自動販売機で果物カードと交換することができる	教材
設問				
案内			※今回は<活動②>を数にチャレンジとします。	保育士の役割

■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	絵本の導入を工夫出来たか（活動①のカードを使用する等）
活動① 色①	色の変化を楽しませることが出来たか
活動② 色②	選んだ色によって出て来るカード（果物）が異なることの面白さを感じさせられたか 果物に合った色を選んで塗ることを指導出来たか
数チャレ	活動②に含む ※絵具を使用する場合は、事前に色の変化がはっきりするように試しておくこと

練習タイム♪

*** テーマ・色 ***

色水遊び

＜遊び方＞

10月に統一して「色」がテーマ。今月は絵本にも出てきた、二つの色を混ぜてその色の変化を楽しんでみましょう。

①絵具や食紅を何色か混ぜ（子どもが一人でも扱える量）水で溶いてカップに入れて準備します。

②二つの色を混ぜてその変化を楽しみましょう。

※生活の中にあふれた「色」は視覚を通して、日々たくさんのが刺激と情報を子ども達に与えています。様々な形で色への興味・理解を高めていきましょう。



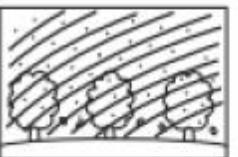
黄色と青混ぜたら
たら何色になるかな？

そーと
そーと

混ぜた色は野菜スタンプや指スタンプ、手形遊びやタンボ遊びなどに活用してみましょう。

今月のえかきリズム

*** かぜ ***



えかきリズム
の動画は
こちら





練習タイム
の動画は
こちら

